

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	鹿児島大学		
設置区分	国立	学校種	大学
都道府県	鹿児島県	事業期間	令和6年度～令和15年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	鹿児島大学と地域社会の協創による実践的な高度情報専門人材養成事業		

2. 事業概要

学術的な知識と技術に加え、情報関連技術に対する社会や地域の多様なニーズに対応できる実務的かつ実践的な能力を備えた高度情報専門人材を養成するため、理工学研究科博士前期課程に情報科学専攻を設置するとともに、博士後期課程総合理工学専攻にも情報科学コースを新設し、地元企業と連携した実践的な教育体制を構築する。

情報科学に関する高度で専門的な学修の機会を大学院で提供する一方で、他分野の学生に対して学部レベルから情報科学に関する基礎知識を学ぶ機会として副専攻を導入し、異分野からの受入れを拡充する。また、理工学研究科附属DXコネクタセンターの支援により、情報科学に関する大学全体及び国内外の高等教育機関との連携、さらには企業等とのクロスアポイントメント制度を活用した実務家教員による実践的な教育や研究インターンシップ等を通じて、俯瞰的視野で新たな課題を発見し解決できる高度情報専門人材を養成し、地域人材の還流を実現する。

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	総合理工学専攻 基盤研究コース・ 先端科学技術コース（情報系配属 分）	2	0	R7募集停止	
	総合理工学専攻 情報科学コース	0	8	R7設置	理学関係、工学関係
	計	2	8	増員数	6
修士	理学専攻 数理情報科学プログラム	10	0	R7募集停止（情報科 学専攻へ移行）	
	工学専攻 情報・生体工学プログラム	44	0	R7募集停止（情報科 学専攻へ移行）	
	情報科学専攻	0	74	R7設置	理学関係、工学関係
	計	54	74	増員数	20
学士	理学部 理学科 数理情報科学プロ グラム	40	40	—	
	工学部 先進工学科 情報・生体工 学プログラム	84	84	—	
	計	124	124	増員数	0

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前（R6.4.1時点）	1.5%	11.6%	8.5%
増員後	6.4%	15.7%	13.0%
増分	+4.9%	+4.1%	+4.5%



事業計画名 鹿児島大学と地域社会の協創による実践的な高度情報専門人材養成事業

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	鹿児島県鹿児島市
増員する情報系組織名(博士)	理工学研究科 総合理工学専攻(博士後期課程) 情報科学コース
入学定員増数及び増員時期(博士)	6名(R7)
増員する情報系組織名(修士)	理工学研究科 情報科学専攻(博士前期課程)
入学定員増数及び増員時期(修士)	20名(R7)

<社会や地域のニーズ・課題>

- 企業も個人も、9割以上が情報科学に関するスキル不足を自覚し、研修や自己研鑽を試みるも満足する結果を得られていない。(本学実施のアンケート結果より)
- 工学、自然科学、環境科学、情報科学の技術や知識を集結し、俯瞰的視野で新たな課題を発見し解決するための先端技術開発及び高度情報専門人材が求められている。
- 社会人の「リスクリング」、「スキルチェンジ」が今後の社会の発展には不可欠となる。

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- 既存の研究科組織の中から、これまでの高度情報専門人材養成の実績を踏まえ、情報科学に特化した教育組織を再編し、博士前期課程に情報科学専攻、博士後期課程総合理工学専攻に情報科学コースを新設。
- 情報科学に関する高度で専門的な学修の機会を提供する一方で、学部レベルから情報科学に関する基礎知識を学ぶ機会として副専攻を導入し、異分野からの受入れも行う。
- 理工学研究科附属DXコネクセンターを設置し、情報科学分野に関して大学全体及び企業、他高等教育機関と連携協力した教育体制を整備する。
- 教育指導には、専任教員のほか、DXコネクセンターをプラットフォームとして、連携協力体制を築いた地元企業、地方自治体からクロスアポイントメント制度を活用した実務家教員を招聘し、PBL教材の協働開発を通じた実践的な教育、学生の研究インターンシップ派遣、国内外の教育機関との連携の下、高度情報専門人材を養成し、地域人材の還流を実現する。

<教育内容・育成する人材像>

- 幅広い知識と俯瞰的視野を有する人材
- 革新と多様化のすすむ高度情報化社会に対応し、情報収集・分析及び発信力に優れた人材
- 異分野融合に関心をもち、柔軟な発想力とデザイン力により新たなシーズを創出するとともに社会のニーズの変化に対応できる人材
- コミュニケーションとコラボレーション能力に優れ、アントレプレナーシップに溢れる人材
- 高い倫理観を備え、優れた指導力と教授法を有する人材

<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

- SSH事業に運営指導委員や研究指導担当などの立場で参画し、高校生への実験・分析指導、高校教員に対する研究指導方法の助言、大学院生による講義や大学施設を使った研究支援等を継続的に実施中。小中学生向けの理科実験やプログラミング授業等により、情報技術の役割とその重要性に関する啓発も進め、より実践的な体験講座の提供や研究教育指導を実施する。
- 大学と地元企業、地方自治体、地元の高等教育機関、さらには海外の企業・大学も加わり、連携協力するためのプラットフォームとなる理工学研究科附属DXコネクセンターを設置。鹿児島県に工場や研究所等の拠点を有する企業、鹿児島県関係機関、鹿児島県内に所在する大学、高専と連携し、高度な情報科学を学修する機会の提供及びそれによる高度情報専門人材の養成について連携協力する。

<女子学生、社会人学生、留学生等の確保>

- 大学院進学者確保に向けた女子学生への啓発活動
女子学生向けの進学説明会やロールモデルの紹介、女子小中高生向けのプログラミングやロボット制御の講座(リカジョ育成賞(令和5年)受賞)等を実施し、女子生徒、女子学生の進路選択支援に積極的に取り組む。
- 「ウミガメ型リカレント教育」、「万羽鶴型リカレント教育」による社会人学生、留学生の確保を推進
「ウミガメ型リカレント教育」:企業が、採用した卒業生を本研究科に社会人大学院生として派遣
「万羽鶴型リカレント教育」:地元企業が採用(予定含む)する外国人若手人材(学部卒)を本研究科博士前期課程の正規学生として受け入れ、地元企業から学生への経済的支援の下、高度専門人材として養成
- アジア圏を中心とした大学からの受入体制の整備
国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム「地域インフラを支え地球環境に貢献する技術者養成プログラム」、地域企業と連携したカンボジア工科大学の情報系学生を中心とした奨学金プログラム(年2名)の他、交換留学や国際シンポジウムなども活用した留学生受入れ態勢を整備する。

